

各位

2019年8月7日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：岩本
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（令和元年6月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比 175.0%と前年を上回ったが、一般団体は同 92.9%と前年を下回り、団体旅行合計で同 99.8%と前年並となった。企画旅行については前年比 98.3%と前年を下回り、個人旅行については同 99.9%と前年並となった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 99.0%と前年並となった。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比 97.8%、一般団体は同 93.5%と前年を下回り、団体旅行合計で同 96.2%と前年を下回った。企画旅行については前年比 101.5%と前年を上回り、個人旅行については同 88.8%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 97.6%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比 110.0%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の6月の総取扱額は前年比 98.2%となり、前年を下回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、学生団体は、修学旅行の取扱人数が増加したことにより、前年比 175.0%と前年を大きく上回った。一般団体は職場旅行や親睦旅行などの取扱人数が増加した一方で、SIT型旅行の取扱人数の減少や前年の大型企業系コンベンションの影響減などにより同 92.9%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比 99.8%と前年並となった。

海外企画旅行については、前年比 98.3%と前年を下回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、ヨーロッパ方面が好調に推移し、アジア方面が堅調であったが、ミクロネシアやオセアニア方面などが不調であった。クラブツーリズムは、ヨーロッパでは西欧（フランス）、東地中海（トルコ）、ロシア、バルト三国、北欧が好調に推移している。一方で、中国、アジア（韓国、香港）、東南アジア（マレーシア、タイ）、北米（西海岸）、カナダは不調であった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 99.0%と前年並となった。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、スポーツ関連団体の取扱人数の増加や大型国際会議関連の取扱により、前年比 110.0%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、学生団体は、修学旅行や林間学校などの取扱人数が減少したことにより、前年比 97.8%と前年を下回った。一般団体は、企業系コンベンションや国際会議の取扱人数が増加した一方で、職場旅行や親睦旅行などの取扱減少や報奨旅行などの取扱人数の減少により、同 93.5%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行で前年比 96.2%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比 101.5%と前年を上回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、東海や関西、九州、沖縄方面を中心に好調に推移したが、北海道や首都圏方面が不調であった。クラブツーリズムは、方面別では、北海道（道東）、北東北、南東北、東海・伊勢・南紀、関西（京都、滋賀）、九州、沖縄が堅調に推移した。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 97.6%と前年を下回った。

以上